



インタープロトシリーズ第2戦に 会員6社+事務局が出展

8月25日(日) / 富士スピードウェイ



Inter Proto Series

8月25日(日)に富士スピードウェイで決勝が行われた「インタープロトシリーズ第2戦」に、当振興会会員6社(エンドレスアドバンス、エイチ・ピー・アイ、小倉クラッチ、トムス、ブリッド、ワーク)+事務局がテントブース出展(Aパドック)を行いました。

インタープロトシリーズは、プロドライバーとアマチュアドライバーが1台のマシンをシェアして、それぞれ予選・決勝を戦う、元プロドライバーの関谷正徳氏が創出した新しいカテゴリーのワンメイクレースです。

また、レース観戦をメインとしつつサーキット場で1日

楽しめる企画を盛り込んだ“イベント型モータースポーツ”となっており、第2戦の期間中は、スーパーカーの同乗体験や燃料電池車の試乗体験会、トークショーやミニライブ等のステージイベントが行われました。

当振興会会員並びに事務局は8月25日のみの出展となりました。当日は生憎の天気となりましたが、サーキットに足を運んだレースファンや家族連れに最新のアフターパーツをアピールしました。

なお、インタープロト最終戦は9月22日(日)に富士スピードウェイで決勝が行われる予定で、当振興会では次回もテントブース出展を行います。会員各位のご参加をお待ちしております。



決勝日にAパドックで行われた燃料電池自動車の試乗/同乗体験会(協力・トヨタ自動車(株))には、昨年のNAPAC総会後に講演をお願いした元トヨタの加藤孝氏が説明員を務めていらっしゃいました。